

*Digital Wireless
Intercom System*

YOP-1800
主装置 (BS)
取扱説明書

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全上のご注意

ここでは当社製品を安全にご使用いただく上で大切な〔禁止事項〕・〔注意事項〕について記載します。操作に入る前に必ずお読みいただき、大切に保管し、正しくご使用いただくようお願いいたします。また廃棄の際は〔廃棄上の留意点〕を必ずお読みください。



警告

この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



△記号は注意しなければならない内容（警告を含む）を示しています。具体的な注意内容は△の中や近くに絵や文章で示しています。左図の内容は〔感電注意〕を示しています。



⊘記号は、禁止内容（してはならないこと）を示しています。具体的な内容は⊘の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は〔分解禁止〕を示しています。

- ・製造責任法に規定する欠陥が存在することに起因する場合を除き、製品を使用し、お客様の生命、身体または財産に損害が生じることがあっても当社は何ら責任を負うものではありません。
- ・本製品の瑕疵によった場合でも、お客様が当社指示以外の作業などを行った場合、その費用や損害については、当社は何ら責任を負うものではありません。



警告



煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。



機器内部に水や異物が入ったなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。



機器を落としたりカバーを破損したりした場合、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



機器本体に直接水のかかる場所では使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら電源プラグには絶対に触れないで下さい。感電の原因となります。



本機の分解・修理・改造は絶対にしないで下さい。またカバーは絶対に外さないで下さい。火災・感電の原因となります。



梱包に使用されている袋（ポリ袋、エアパッキン等）は被らないで下さい。窒息する恐れがあります。



人命に関わる用途には絶対に使用しないでください。



注意



長期間（1ヶ月以上）使用しない場合には安全のために必ず電源ケーブル抜いて下さい。接続したままにしておくと、火災・感電の原因となることがあります。



本機をお手入れする場合には安全のため電源ケーブルを抜いてから行って下さい。感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かないで下さい。落下し機器が破損し、火災・感電の原因となります。



窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たるところなど、異常に温度の高いところには置かないで下さい。火災の原因となることがあります。



埃の多い場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となります。



振動の多い場所では使用しないで下さい。機器が破損し、火災・感電の原因となります。



精密機械のため、乱暴に扱わないで下さい。機器が破損し、火災・感電の原因となります。



清掃上の留意点：

本機器の表面の清掃は、無通電で行って下さい。有機溶剤は、使用しないで下さい。清掃は、乾布で拭いて下さい。筐体が腐食したり変形する恐れがあります。

廃棄上の留意点：

・お客様へ

本器を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託して下さい。

・回収サービス

弊社製品による入れ替えにともなう回収をご希望される場合は、弊社営業部へお問い合わせください。この場合、産業廃棄物としての管理などに関わる費用を別途請求させていただく場合があります。

電波法に関する注意事項：

電波法に基づく技術基準適合証明（利用に関してお客様の免許申請等が不要）を受けている製品については必ず次の点を守ってお使い下さい。



分解・改造をしないで下さい。分解・改造は法律で禁止されています。



技術基準適合ラベルは剥がさないで下さい。ラベルの無い物の使用は禁止されています。



この製品は日本国外での電波法には準じておりません。日本国内で御使用下さい。

This product is for the use only in Japan.

異常や不具合が起きたら：

すぐに電源を切り、電源ケーブルをはずし販売店又は当社カスタマーサポートにご連絡下さい。連絡先は本書末尾に記載してあります。お客様による修理は危険ですので、絶対にお止め下さい。

ご使用上の注意

- このシステムは、電波を利用している為サービスエリア内であっても電波の届かないところ、電波の弱いところでは通話ができないことがあります。
- デジタル方式の特徴として、電波状態が悪いところでも高品質な通話を保つことができますが一定以上悪くなったときは、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- このシステムは、時分割通信方式を利用している為、他の機器に影響を与えることがあります（ワイヤレスマイク、有線マイク、補聴器等、特にコンデンサーマイク）。あらかじめご確認の上ご使用ください。
- このシステムは、時分割通信方式を利用している為、システムにノイズが混入する場合があります（ブーンという音）。あらかじめご了承ください。
- このシステムは、デジタルコードレス電話（PHS）の自営用の周波数を使用している為、構内PHS、公衆PHS等の影響を受けるエリアでは使用できない場合があります。あらかじめご確認の上ご使用ください。
- ハンドオーバー機能を使用する場合、親機の設置してある場所により、切替えに数秒かかる場合があります、また子機の移動方向により切り替わり方が違います。あらかじめご確認の上ご使用ください。
- このシステムは、従来のアナログ方式と比べ高い秘話性を有しておりますが、電波を使用している関係上、傍受されることが絶対無いとは言い切れません。十分ご配慮の上ご使用ください。

その他ご不明な点等がございましたら弊社営業部までご相談ください。
(連絡先は最後のページをご覧ください)

目次

| | | |
|---|--------------------|----|
| 1 | 概要 | 8 |
| 2 | 構成 | 9 |
| 3 | YOP-1800 主装置-各部の名称 | 10 |
| 4 | 操作キ一操作方法 | 12 |
| 5 | 定格性能 | 26 |
| 6 | 外形寸法図 | 27 |
| 7 | 系統図 | 28 |
| 8 | 故障かと思ったら | 29 |

1 概要

主装置と親機はDC12Vで動作するため単三乾電池(8本)での使用が可能です。子機は単三型アルカリ乾電池2本で連続 8時間の使用が可能です。

本書は主装置YOP-1800の取扱説明書です。他の機器の説明は、各機器の取扱説明書をご参照ください。

表1. デジタルワイヤレスインカム・システム構成

| No. | 製品名 | 型名 | 英表記 | 略称 | 備考 |
|-----|-----------|----------|------------------|----|--------------|
| 1 | 主装置 | YOP-1800 | BASE STATION | BS | 2W/4W 2チャンネル |
| 2 | 親機 | YFP-1821 | CELL STATION | CS | |
| 3 | 子機 | YMT-1930 | PERSONAL STATION | PS | |
| 4 | 受令専用機 | YMT-1930 | PERSONAL STATION | PS | |
| 5 | バッテリーボックス | YBB-1800 | BATTERY BOX | BB | |

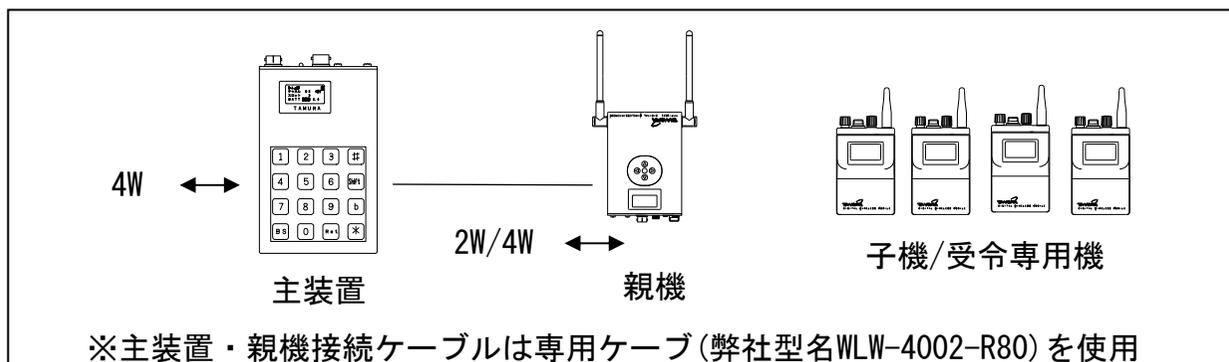
<特徴>

- ・ 親機1台に最大4台の子機が接続し通話可能です。(フル・デュプレックス)
- ・ 親機は単体で使用できる有線インカム及びヘッドセットが接続できます。
- ・ 有線インカム4線式2系統によるグループ通話ができます。
- ・ 主装置、親機は単三電池が使用できます。(バッテリーボックスYBB-1800)

※注意

子機間は直接通話することはできません。親機を経由して通話が行われます。親機を複数台同一エリアで使用する場合、専用の同期ケーブルで接続します。

<基本システム>



<旧製品との互換について>

主装置YOP-1800は旧製品親機YFP-1800/1820と接続することができます。

2 構成

1) 本体

(a) YOP-1800 (主装置)

1台

2) 付属品

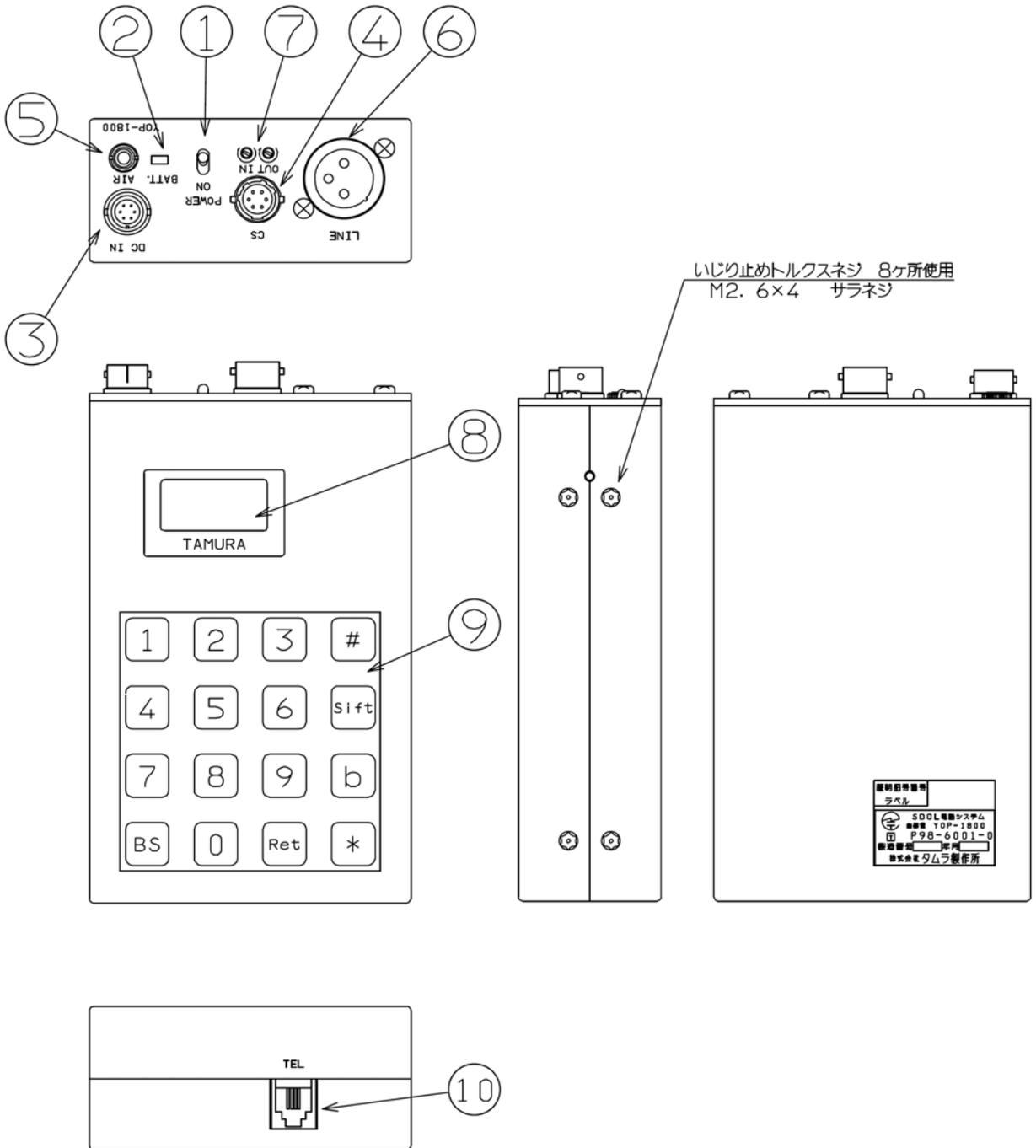
(a) 皮ケース (WLC-YOP1800-000)

1個 (本体実装)

(b) 取扱説明書 (本書)

1部

3 YOP-1800 主装置-各部の名称

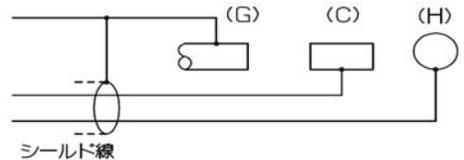


- ① 電源スイッチ……………
“POWER”
- ② 電源ランプ ……………
” BATT”
- ③ 電源入力用コネクタ……………
“DC IN”
(プラグ : KMC9BPD-6P)
- ④ 親機接続コネクタ……………
“CS”
(プラグ : HR11-9BPB-6P)
- ⑤ 外部ライン入力ジャック……
“AIR”
(プラグ : 3.5Φステレオプラグ)

スイッチを入れると電源が供給され
 ②電源ランプ(BATT)が【緑】に点灯します
 ①電源スイッチ[ON]でランプが【緑】に点灯し、
 電池電圧が約半分以下になると【赤】に変わります。
 減電圧時には、【赤】が点滅又は消灯します
 ので、電池を交換(YBB-1800, 1810)又は、
 確認してください
 バッテリーボックス(YBB-1800)、又は外部電源
 と接続します。
 (電源の使用範囲は、DC8V~13.5V以内です。)
 親機(YFP-1800, 1820, 1821)と接続します。

外部ライン入力ジャックです。
 AIR入力 : -20dBm~0dBm、平衡600Ω

プラグ 接続図

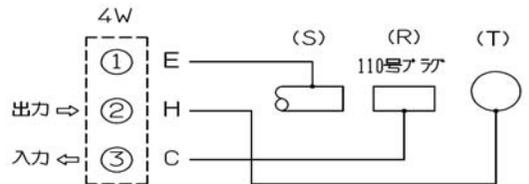


- ⑥ ライン入出力コネクタ……………
“LINE”
(プラグ : XLR-3-11C)

4線式有線インカムに接続します。
 また、カメラのプラグジャックに接続して使用する
 ことも可能です。
 入力レベル : -20dBm~0dBm 600Ω
 出力レベル : -20dBs~0dBs 50~600Ω

コネクタ 接続図

(YOP-1800 側)



- ⑦ ラインレベル調整ボリューム
“IN” ……………
“OUT” ……………
- ⑧ 液晶表示部 ……………
- ⑨ キーボード ……………
- ⑩ 単独電話回線 ……………
モジュラージャック

時計方向に回すと有線インカムから子機
 (YMT-1930等)への音声レベルが上がります。
 時計方向に回すと子機(YMT-1930等)から有線
 インカムへの音声レベルが上がります。
 親機(YFP-1800, 1820, 1821)の状態及び、電池残
 量又は、電話番号などを表示します。
 各種設定、電話番号などの入力に使用します。
 電話回線と接続するとき、単独電話ケーブル
 と接続します。(公衆回線のみ)

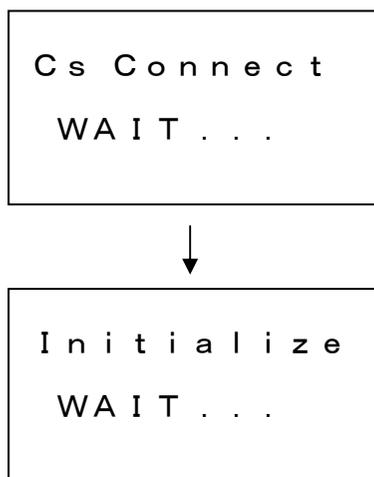
4 操作キー操作方法

4.1 基本操作

4.1.1 立ち上げ

YOP-1800（以下、BS）をCSと接続し、電源を投入します。このときCSの電源を先に投入して下さい。

また、すでに電源が入っていても構いません。電源投入後、CSと通信を行います。



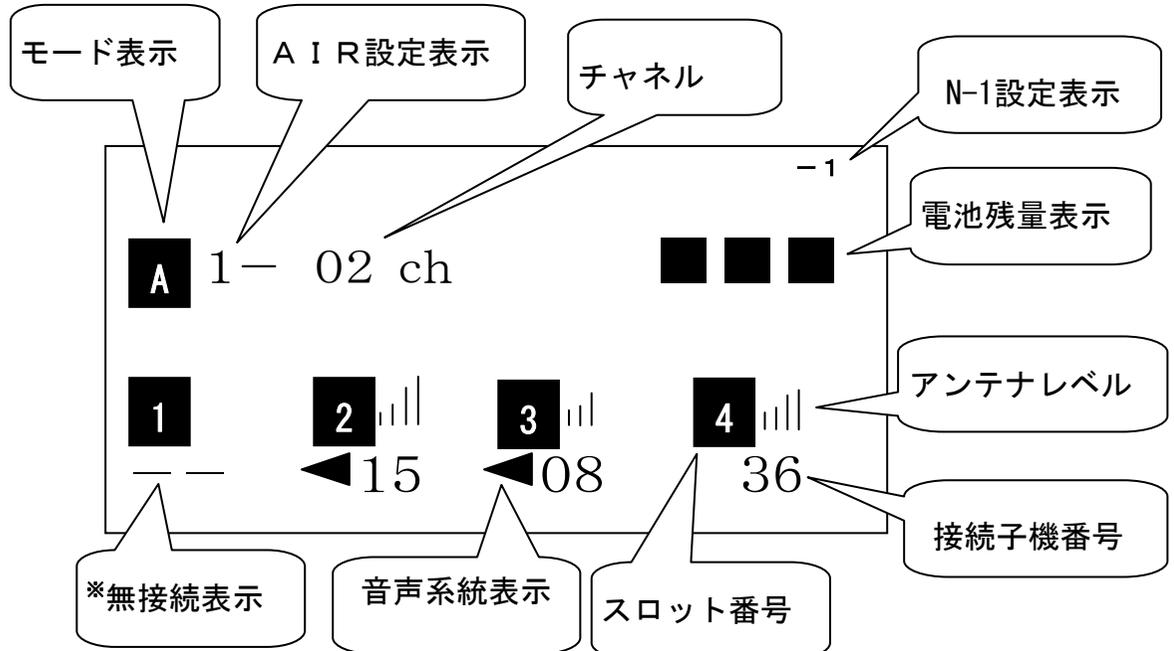
この後に接続状況を表示します。

もし、以下の様に表示されたらCSの電源が入っていません。



4.1.2 液晶画面表示の説明

立ち上げ時の通信が終了した後、CSとPSの接続状況の画面が表示されます。



※但し、1:3設定時スロット1には何も表示されません。

● チャンネル

PSとの通信チャンネルを表示します。(01ch~37ch)

● モード表示

システムモードの状態を表示します。

NORMALは“*”が点滅します。

AUTOは“A”が点滅します。

※NORMAL : 1系統のみ使用します。(AIRはHYB1に接続)

AUTO : 2系統使用します。(AIRは任意に設定可能)

● AIR設定表示

システムを2系統(AUTO)に分けた時に表示します。

AIRをHYB1に接続した場合は左側に“1”と表示します。

AIRをHYB1に接続しない場合は左側に“—”と表示します。

AIRをHYB2に接続した場合は右側に“2”と表示します。

AIRをHYB2に接続しない場合は右側に“—”と表示します。

● 音声系統表示

システムを2系統に分けた時に表示します。

HYB1は“ ”と表示します。

HYB2は“◀ ”と表示します。

● 電池残量表示

電池パックの電池残量の目安を表示します。

バッテリーが少なくなるに連れて右端から順番に色が消え、最終的には全ての色が消えます。



● アンテナレベル

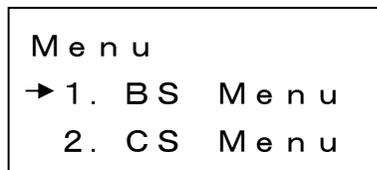
子機との通信によりアンテナが受けている電波の強さを表示します。

● N-1 設定表示

N-1がONのとき、“-1”と表示します。

4.1.3 システムのセット方法

テンキーで **#** と **0** を同時に押す。以下の画面が表示されます。



***** または **BS** キーで矢印が移動します。

Menu

1. BS Menu : BS設定メニューへ

2. CS Menu : CS設定メニューへ

主なキー操作

画面切替操作

と **0** を同時に押すと “Menu” 画面が表示されます。

と **9** を同時に押すと元の画面に戻ります。

***** キー : カーソル下へ移動

BS キー : カーソル上へ移動

Ret キー : 決定

数字入力操作

0 ~ **9** : 数字入力

BS キー : 入力数字消去

Ret キー : 実行

4.2 BSの設定メニュー

「BS Menu」を選択すると下記画面が表示されます。



* または **BS** キーでカーソルを移動させると画面がスクロールします。

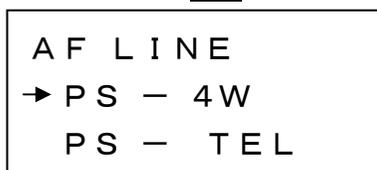
Menu

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. AF LINE | : 音声系統の切り替え設定 |
| 2. TEL No. | : 電話番号設定 |
| 3. TEL MODE | : 電話の設定 |
| 4. OEL BR | : 輝度の設定 |

4.2.1 音声系統の切り替え設定

子機との音声系統の結合先を設定します。

① 1. AF LINEにカーソルを移動させ **Ret** を押します。下図のように表示されます。



AF LINE

- | | |
|-------------|-----------------------|
| PS - 4W | : PSの音声を4Wに結合させます。 |
| PS - TEL | : PSの音声を電話に結合させます。 |
| PS - 4W、TEL | : PSの音声を4Wと電話に結合させます。 |
| PS - OFF | : PSの音声の結合をオフにします。 |

② * または **BS** キーでカーソルを移動させ設定する項目を選び **Ret** を押します。
‘Ok’が表示されたら設定が完了し、その設定はすぐに有効となります。



設定完了！

4.2.2 電話番号の設定

あらかじめ相手先の電話番号を登録することができます。

(PS発信ダイヤル番号)

- ① ***** または **BS** キーで 2.TEL No. にカーソルを移動させ **Ret** を押します。
下図のように表示されます。

```
TEL No Input
—
```

- ② テンキーで登録する番号を入力し、**Ret** を押します。

```
TEL No Input
033978xxxx
```

ゼロ発信の場合は、**Shift** キーで ‘—’ を入力します (下図)。

```
TEL No Input
0-033978xxxx
```

- ③ 下図のように ‘Ok’ の表示が出力されたら電話番号の登録は完了です。

```
TEL No Input
033978xxxx
                Ok
```

登録完了！

4.2.3 電話機能の設定

電話の発信、着信の動作設定を行います。

- ① ***** または **BS** キーで 3.TEL MODE にカーソルを移動させ **Ret** を押します。
下図のように表示されます。

```
TEL MODE
→ Call Catch
   Call ---
```

TEL MODE

| | | |
|------|-------|-------------|
| CALL | Catch | : 発信、着信機能あり |
| Call | --- | : 発信機能のみ |
| --- | Catch | : 着信機能のみ |
| --- | --- | : 電話機能停止 |

- ② ***** または **BS** キーでカーソルを移動させ設定する項目を選び **Ret** を押します。
電話機能停止以外の設定をすると下図のようにダイヤル回線の設定画面が表示されます。

```
TEL TYPE
→ 1. PB
   2. DP 20
```

TEL TYPE

1. PB
2. DP 20
3. DP 10

- ③ ***** または **BS** キーでカーソルを移動させ設定する項目を選び **Ret** を押します。
‘Ok’が表示されたら設定が完了し、その設定はすぐに有効となります。

```
TEL TYPE
→ 1. PB
   2. DP 20   Ok
```

設定完了！

4.2.4 輝度の設定

画面の明るさを調節します。

- ① ***** または **BS** キーで 4.OEL BRにカーソルを移動させ **Ret** を押します。
下図のように表示されます。

```
OELBR Input
      04
```

- ② テンキーで設定する明るさを入力し、**Ret**を押します。
設定する明るさは1(輝度最低)~20(輝度最高)です。
* 番号の入力は、輝度01なら “01” と先に “0” を入力してください。

- ③ 一旦電源を切り、再投入することで設定が有効になります。

4.3 CS設定メニュー

テンキーで **#** と **0** を同時に押し、「CS Menu」を選択すると下記画面が表示されます。

```
CS Menu
→ 1. 1 : 3 / 1 : 4
    2. GROUP
```

- *** または **BS** キーでカーソルを移動させると画面がスクロールします。

| | |
|---------|-------------------|
| Menu | |
| 1:3/1:4 | : 通信システムの設定 |
| GROUP | : CSグループの設定 |
| CHANNEL | : CSスタートチャンネルの設定 |
| AF LINE | : 音声システムの切り替え設定 |
| TB N-1 | : 子機自局折り返し(N-1)設定 |

4.3.1 通信システム(1:3/1:4)の設定

通信システムの設定をします。

- ① ***** または **BS** キーで 1. 1:3/1:4 にカーソルを移動させ **Ret** を押します。
下図のように表示されます。

```
CS SYSTEM
→ 1. 1 : 3 F
   2. 1 : 3 A
```

- ② ***** または **BS** キーで設定する番号にカーソルを移動させ **Ret** を押します。
親機との通信が完了すると再スタートします。

```
CS SYSTEM
→ 2. 1 : 3 F
   3. 1 : 4 A
```



```
RESET
START . . .
```

設定完了！

| 設定値 | 子機・受令機接続数(親機毎) | チャンネル選択方式 |
|--------|----------------|-----------|
| 1 : 3A | 子機3 台+受令機 | MCA |
| 1 : 3F | 子機3 台+受令機 | 固定チャンネル |
| 1 : 4A | 子機4 台 | MCA |
| 1 : 4F | 子機4 台 | 固定チャンネル |

※MCA : マルチチャンネルアクセス方式

※固定チャンネル : 主装置に設定したチャンネルで通信を行います。

注意 1:3システム設定時のみ受令専用子機が使用可能となります。

4.3.2 CSグループの設定

CSのグループ番号を設定します。

- ① ***** または **BS** キーで 2. GROUP にカーソルを移動させ **Ret** を押します。
下図のように表示されます。

```
CS GP Input
GP : 01
```

- ② テンキーで設定するグループ番号を入力し、**Ret** を押します。
設定できるグループ番号は 1 ~4までです。
* 番号の入力は、1グループなら “01” と先に “0” を入力してください。
- ③ 親機との通信が完了すると再スタートします。

```
CS GP Input
GP : 01
Ok
```



```
RESET
START . . .
```

設定完了！

注意

通常、グループ番号の変更は行わないでください。
PSのグループ番号を CSと同一番号に設定してください。
同一番号に設定しないと PSとCSは接続できません。

4.3.3 スタートチャンネルの設定

電源投入時の通信チャンネルの設定をします。

- ① ***** または **BS** キーで 3.CHANNEL にカーソルを移動させ **Ret** を押します。
下図のように表示されます。

```
START ch Set
      ch : 06
```

- ② テンキーで設定するチャンネル番号を入力し、**Ret** を押します。
下図のように 'Ok' の表示が出力されたら設定完了です。

```
START ch Set
      ch : 06
                        Ok
```

設定完了！

設定チャンネル
01 ch ~ 37 ch のうち 11, 12, 13, 17, 18, 19 ch 以外のチャンネルを設定してください。

注意

この設定は親機の次の電源投入時に有効となります。

4.3.4 音声システムの切り替え設定

子機との音声システムの結合先を設定します。

- ① ***** または **BS** キーで 4.AF LINE にカーソルを移動させ **Ret** を押します。
下図のように表示されます。

```
AF LINE
→ 1.  AUTO
   2.  NORMAL
```

AF LINE

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 1. AUTO | : 音声システムを2システムで使用します。 |
| 2. NORMAL | : 標準の1システムで使用します。 |

- ② [*] または [BS] キーでカーソルを移動させ設定する項目を選び [Ret] を押します。

注意

“AUTO” 設定時は、1系統で電話を使用することができません。

“AUTO” を使用する場合、子機個別番号を設定して下さい。

例 HYB1 : 001~99
HYB2 : 101~199

4.3.4.1 “AUTO” モードを選択した場合

- ① [*] または [BS] キーでカーソルを移動させ設定する項目を選び [Ret] を押します。

下図のようにAirからの入力を1系統 (HYB1) に設定する画面が表示されます。

```
A I R
▶ 1. H Y B 1   O N
   2. H Y B 1   O F F
```

- ② [*] または [BS] キーでカーソルを移動させ設定する項目を選び [Ret] を押します。

下図のようにAirからの入力を2系統 (HYB2) に設定する画面が表示されます。

```
A I R
▶ 1. H Y B 2   O N
   2. H Y B 2   O F F
```

- ③ [*] または [BS] キーでカーソルを移動させ設定する項目を選び [Ret] を押します。

下図のように2系統 (HYB2) のTALK BACKレベルを設定する画面が表示されます。

```
T B 2   V R
▶ 1. + 6 d B
   2.   0 d B
```

1. + 6dB
2. 0dB
3. - 6dB
4. -12dB
5. -18dB
6. -24dB

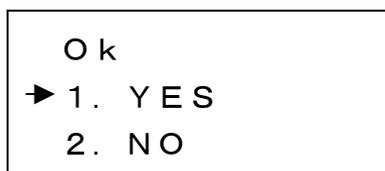
- ④ ***** または **BS** キーでカーソルを移動させ設定する項目を選び **Ret** を押します。

下図のようにパワーオンリコール(電源投入時設定読み込み)の設定する画面が表示されます。



- ⑤ テンキーで設定する項目を選択し、**Ret** を押します。

下図のように ‘Ok’ の表示が出力されたら設定完了です。



設定完了！

4.3.4.2 “NORMAL”モードを選択した場合

- ① テンキーで設定する項目を選択し、**Ret** を押します。

下図のように ‘Ok’ の表示が出力されたら設定完了です。



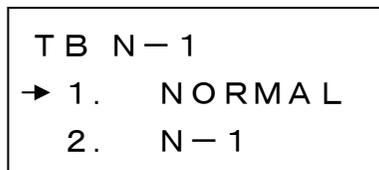
設定完了！

4.3.4.3 子機自局折り返し(N-1)設定

全ての子機に対し子機自身の音声の折り返しを設定します。

- ① ***** または **BS** キーで 5. TB N-1 にカーソルを移動させ **Ret** を押します。

下図のように表示されます。



TB N-1

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. NORMAL | : 子機自身の音声を折り返す。 |
| 2. N-1 | : 子機自身の音声を折り返さない。 |

- ② ***** または **BS** キーでカーソルを移動させ設定する項目を選び **Ret** を押します。

4.4 電話

電話操作についての説明

1. テンキーによる発信
2. PSによる発信
3. 着信

※電話機能をご使用になる前に

1. AF LINE → PS-TEL
PS-4W, TEL

3. TEL MODE → Call Catch
Call ---
--- Catch

それぞれの設定を行って下さい。

主なキー操作

0 ~9 : 電話番号入力
BS キー : 入力数字消去
b キー : オフフック、オンフック

4.4.1 テンキーによる発信

- ① **b** キーを押すとオフフック状態になり、下図のように表示されます。

TEL No Input

—

- ② テンキーで相手先の番号を入力します。
ゼロ発信時は、“0”入力後ダイヤルトーンを検出してから番号を入力してください。

TEL No Input

033978xxxx

- ③ 通話を終了するときは、再び **b** キーを押します。（オンフック）

4.4.2 PSによる発信

※あらかじめ相手先の電話番号を 2.TEL No. で登録します。

PSの“PUSH CALL” ボタンが押されると下図のように表示されます。

```
TEL (PS)
033978xxxx
```

通話を終了するときは、PSの“PUSH CALL” ボタンを押すか、**b** キーを押します。
(オンフック)

4.4.3 着信

4回目のコールで自動着信します。(“Receiving” 点滅表示)

```
TEL
Receiving
```

通話を終了するときは **b** キーを押します。(オンフック)

4.4.4 エラーメッセージ

電話操作時にエラーメッセージが表示された場合、
各々の設定を確認してください。

4.4.4.1 電話回線エラー

下図のエラーメッセージが表示された場合、電話回線の接続を確認してください。

```
TEL ERROR
LINE Error
Code = #01
```

4.4.4.2 電話番号入力エラー

下図のエラーメッセージが表示された場合、4.2.2 電話番号の設定により電話番号を設定してください。

```
TEL ERROR
No INPUT
Code = #03
```

5 定格性能

測定温度25°C±5 °Cに於いて下記の通り

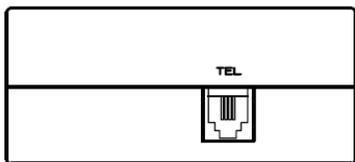
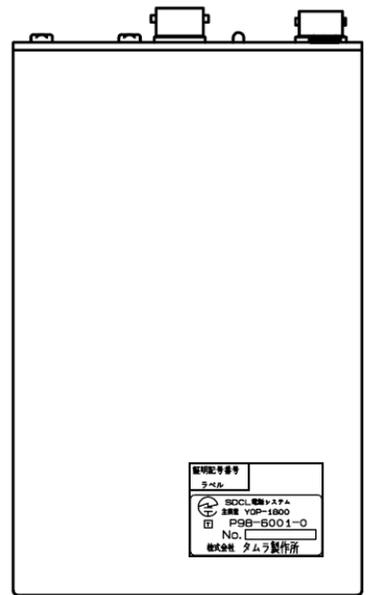
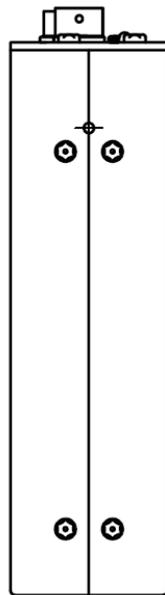
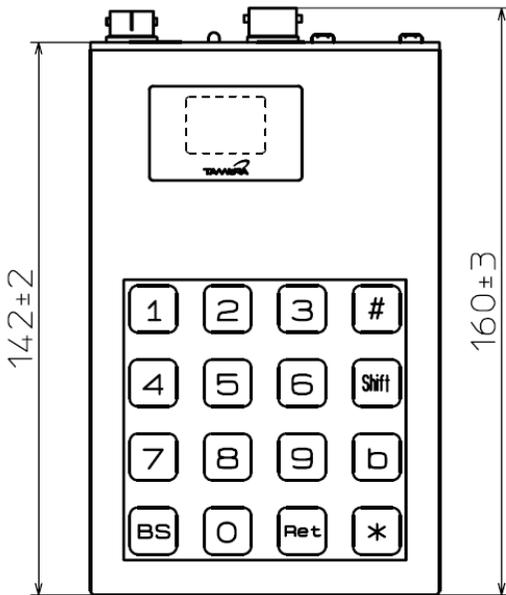
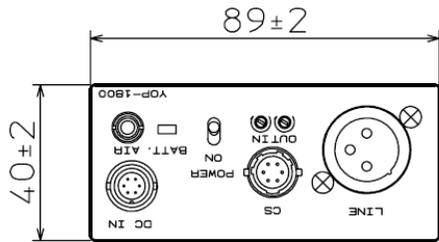
デジタルワイヤレスインカム共通

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1) 使用周波数 | 1900MHz帯 35波 |
| 2) 通信方式 | マルチキャリアTDMA-TDD方式 |
| 3) 空中線電力 | 10mW以下 |
| 4) 多重数 | 4多重 |
| 5) 周波数切替 | 水晶制御によるシンセサイザ方式 |
| 6) セパレーション | 300kHz(同一エリアでは600kHz) |
| 7) チャンネル切替 | 固定方式またはMCA(親機選択による) |
| 8) 音声符号化方式 | 32kbit/s ADPCM |
| 9) 伝送速度 | 384kbit/s |
| 10) 技術基準適合証明 | 必要 |
| 11) 無線局免許 | 不要 |

YOP-1800

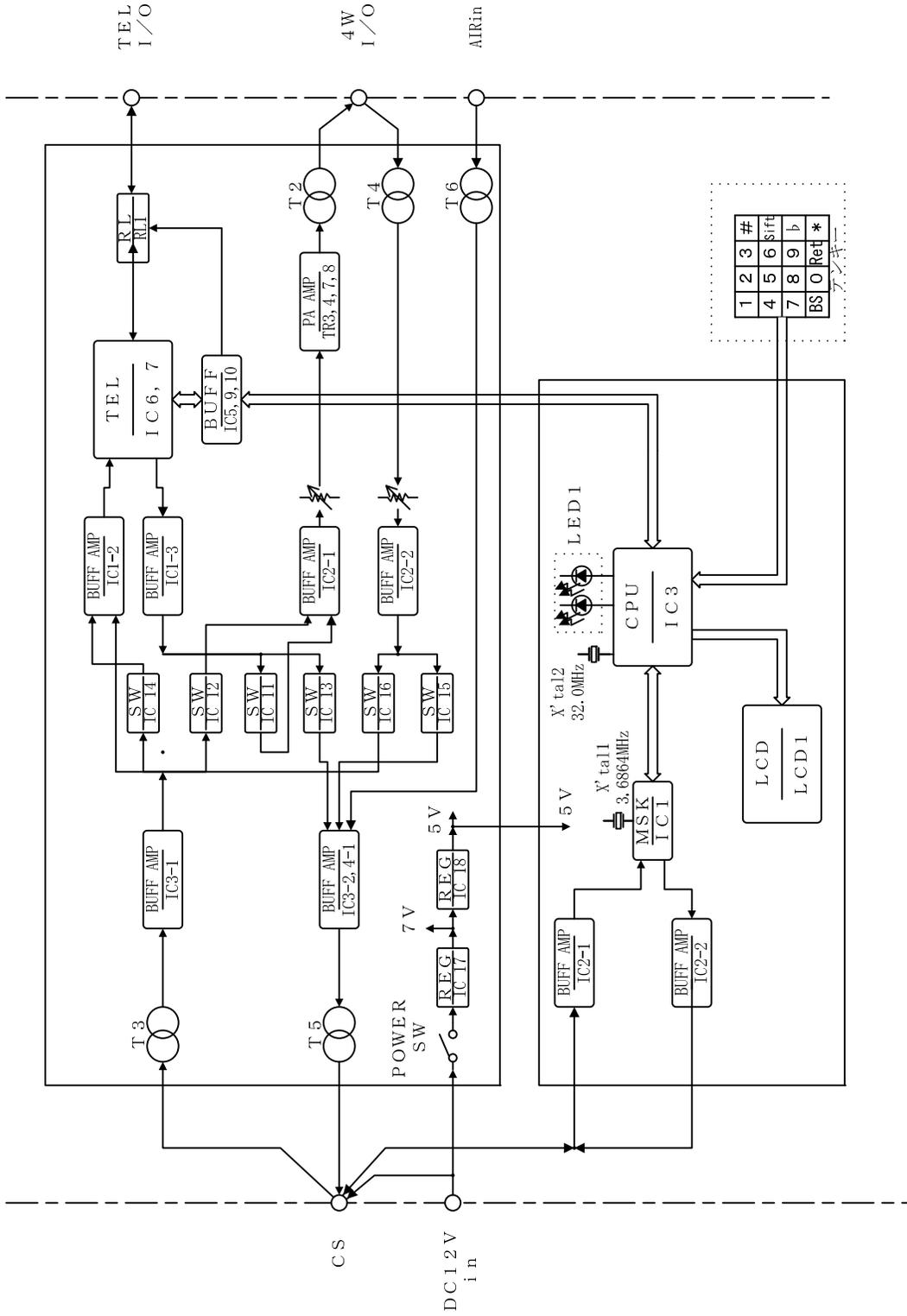
- | | |
|-------------|---|
| 1) 音声周波数 | 3.4kHz以下 |
| 2) ライン規格 | |
| a) 4線式 | 入力 -20dBm(平衡 600Ω) 出力 0dBs(平衡 50Ω) |
| b) 公衆電話機能 | 入出力範囲 0dBm トーンモード/パルスモード切替式 |
| 3) プログラム入力 | -20dBm(平衡 600Ω) |
| 4) 構造 | 可搬型 |
| 5) 使用電源及び容量 | DC8.0~13.5V 150mA以下(12V時) |
| 6) 使用環境範囲 | 温度: -10~+50°C (電話機能部、表示パネル(LCD)部を除く) 湿度: 35~90% |
| 7) 保存環境 | 温度: -25~+70°C以内 |
| 8) 質量 | 480g±50g |
| 9) 寸法 | W=89 × H=142 × D=51 (mm) (突起物を含まず) |
| 10) 使用環境 | 自営用で使用 |
| 11) 規格 | 電気通信事業法第50条第1項に基づく 技術基準適合認定 |

6 外形寸法図



本体色：黒
単位:mm

7 系統図



8 故障かと思ったら

修理のご依頼前に、もう一度点検してください。

それでも正常に動作しないときは、弊社営業部までご相談ください。

| 症状 | 原因 | 対処のしかた |
|-----------------|--------------------------|---|
| 電源が入らない。 | 電源ケーブルが接続されていない。 | 電源ケーブルを接続してください。(ACアダプター又は電池ボックスYBB-1800) |
| 親機(GS)が表示しない。 | 親機との接続ケーブルがつながっていない。 | 親機との接続ケーブルを接続してください。 |
| 有線インカムと通話が出来ない。 | 有線インカムとの接続ケーブルがつながっていない。 | 有線インカムとの接続ケーブルを「3. YOP-1800主装置-各部の名称」を参照の上接続してください。 |
| | 音声設定がされていない | 「4. 2. 1. 音声系統の切り替え設定」を参照して設定してください |

MEMO

保証規定

保証期間は ご購入日より1年間

保証期間中に正常な使用状態のもとで、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。但し下記事項に該当する場合は無償修理の対象から除外します。

1. 不当な修理や改造による故障
2. 不適当な取扱い又は使用による故障
3. 天災など故障の原因が本機以外の事由による故障
4. ご購入後の輸送、移動、落下等による故障及び破損

ご使用中に不具合が発生し修理を必要とする場合、また動作運用上についてご不審の点がある場合、その他当社取扱品目についてご要望事項がありましたら、当社営業部までご連絡ください。なお、修理・再調整期間を短縮するために事故状態・ご使用期間などの経歴をできるだけ詳細にお知らせください。

株式会社 タムラ製作所

ブロードコム事業部

〒178-8511 東京都練馬区東大泉1-19-43

| | | |
|----|-----|---------------------------|
| 営業 | TEL | 03-3978-2141・2146(ダイヤルイン) |
| | FAX | 03-3978-2005 |

| | | |
|-----------|-----|----------------------|
| カスタマーサポート | TEL | 03-3978-5269(ダイヤルイン) |
| | FAX | 03-3978-2119 |

西日本営業所

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-27-27 第2江坂三昌ビル5F

| | | |
|--|-----|------------------|
| | TEL | 06-4861-7722(代表) |
| | FAX | 06-4861-7728 |

株式会社 **タムラ製作所**

TAMURA CORPORATION

<http://www.tamura-ss.co.jp/>

仕様および外観など、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。